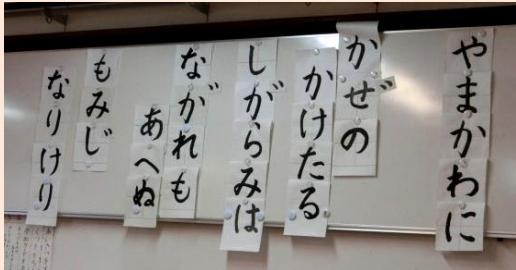


後期に入り、学校生活に慣れた1年生の開講式が実施されるなど、放課後まなび教室も一層活気があふれる時期となりました。文化の秋。読書の秋。実りの秋。引き続き、各校の取組をリポートしていきます。

境谷小学校（西京区）



同校の特色ある取組の一つに「書写」があります。昨年は「ことわざ」を、今年は「百人一首」を題材にされています。宿題や学習の他、読書、折り紙、工作などの活動もありますが、決まった時刻になると全員一斉に百人一首の書き写しを行い、スタッフから丁寧に指導を受けています。

児童が仕上げた力作を図書館のコーナーに掲示して全校児童にもみてもらえるように工夫されています。



↑児童の書写用のノート
←図書室に掲載される作品

石田小学校（伏見区）

家庭的な雰囲気のもとで、同校の子どもたちはゆったりとした放課後を過ごしています。掲示物も工夫され、季節にあった教室づくりにつとめています。（取材日はハロウィーンが近づく10月中旬）

子どもたちは、宿題もしっかりしますが、絵を書いたり、工作をしたりするのが大好き。

また、月に一度はパソコン学習にも取り組み、子どもたちは毎回教室に来るのをとても楽しみにしています。



編集後記

地域の皆様の御協力のもと、全164小学校で取り組まれている放課後まなび教室。どの教室も特色があり、紙面がいくらあっても足りないくらい地道で豊かな取組が進められています。

子どもたちにとってかけがえのない放課後の居場所となつていることに関して、改めてお礼申し上げますとともに、引き続き、創意工夫溢れる皆様の取組の情報発信に努めてまいります。

発行 京都市子ども若者はぐくみ局
子ども若者未来部育成推進課
放課後まなび教室担当

〒604-8171

中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1

☎ 075-746-7610 FAX 075-254-5020

